

保証書

持込修理 無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ、無料修理いたします。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
 - (イ) 使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造等による故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障および損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛け等による故障及び損傷
 - (二) 消耗または磨耗した部品、付属品の交換
 - (ホ) 本書のご提示がない場合
 - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは文字を書きかえられた場合(但し、販売シールや領収書でも未記入項目の代用となります)
 - (ト) 本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
 - (チ) 一般家庭用以外(例:業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
- ご贈答、ご転居等で本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名 オートフィードマイクロカットシュレッダー		★お買い上げ日： 年 月 日		
型番	SHR-AF606C	品番	00-5126	保証期間：本体1年間(お買い上げの日から)
お客様	★お名前 様			
	★ご住所 〒 - 電話 ()			
修理メモ				
販売店	★住所 店名 電話			
	印			

(注)★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとに
おいて無料修理をお約束するものです。

※この保証書によって保証書を発行している者(保証
責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の
法律上の権利を制限するものではありません。

※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、
お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センター
にお問い合わせください。

※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証
期間内のサービス活動及びその後の安全点検活
動のために記載内容を利用させていただく場合が
ありますので、ご了承ください。

OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
<http://www.ohm-electric.co.jp>

製品に関するお問い合わせは お客様相談室へ	
●通話料無料	●携帯・IP・公衆電話からは
0120-963-006 048-992-2735	
電話受付	平日 9:00~17:30 土曜 9:00~17:00 日曜・祝日及び年末年始は除きます
修理に関するご相談は 修理ご相談センターへ	
電話受付	048-992-3970 平日 9:00~17:00 土・日・祝日及び年末年始は除きます

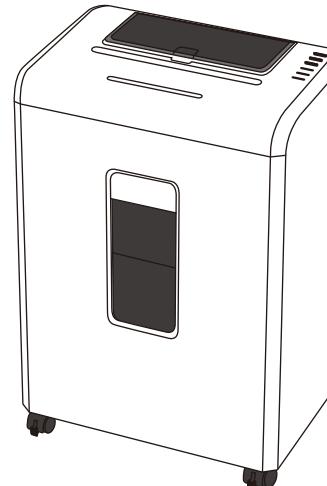
00-5126A

Auto Feed Micro Cut Shredder

オートフィード マイクロカットシュレッダー

取扱説明書

保証書付 SHR-AF606C



この度は

**オートフィードマイクロカットシュレッダー
SHR-AF606Cをお買い上げいただきまして、
誠にありがとうございます。**

- ご使用になる前に必ず取扱説明書を最後まで
お読みの上、正しくお使いください。
- お読みになった後も大切に保管し、ご使用に
関し不明な点がありましたら再度この説明書
をお読みください。



商品特長

◎紙をオートフィード投入口に
セットするだけ。
あとは自動的に細断。
(A4コピー紙で60枚まで)

◎細断サイズ 約 3×9 mmで
情報をしっかりガード。

◎モーターを過熱から保護する
ために自動的に停止状態に
するオーバーヒート自動停止
装置付き。

◎約23リットルの大容量ダスト
ボックス。

目次

安全上のご注意	1~2
仕様	2
各部の名称と働き	3
操作方法	4
オーバーヒート	4
紙詰まりの処理方法	5
細断くずの処理方法	5
こんな時は	6
保証書	7

品番 00-5126

●安全上のご注意●

必ずお守りください

ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、記載事項をお守りいただき、正しくお使いください。



この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



この表示の欄は「損害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。

(下記は図記号の一例です。)



禁止 この図記号は、してはいけない「禁止」内容です。



指示 この図記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

	幼児、お子様には絶対に使用させない。 けがなど事故のおそれがあります。		投入口や排出口に手や指を絶対に入れない。 けがなど事故のおそれがあります。
	可燃性スプレー(オイルスプレー、エアダスターなど)は絶対に使用しない。 ガスが内部に残留し、引火、爆発のおそれがあります。		髪の毛を投入口に近づけない。 巻き込まれることにより、けがなど事故のおそれがあります。
	ネクタイ、ネックレス、衣類などを投入口に近づけない。 巻き込まれることにより、けがなど事故のおそれがあります。		細断中は投入口をのぞき込まない。 細断物が飛び散り、けがなど事故のおそれがあります。
	使用後は電源プラグを抜く。 誤作動により、けがなど事故のおそれがあります。		発熱、発煙、異臭、異音、異物混入などの異常があったときは電源プラグを抜く。 火災や感電のおそれがあります。使用を中止し、販売店に修理を依頼してください。
	腰掛けたり、乗ったりしない。 転倒や巻き込まれるなど、事故やけがなどのおそれがあります。		コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない。 定格を超えると発熱による火災、感電のおそれがあります。
	屋外や水のかかる場所では使用しない。 ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。 感電のおそれがあります。		電源コードやプラグを傷つけたり、加工したり、重い物を乗せたりしない。 傷んだまま使用しますと火災や感電の原因になります。
	電源は交流100V 50/60Hz以外では使用しない。 火災、感電のおそれがあります。		分解、改造、修理をしない。 火災や感電、けがのおそれがあります。 販売店に修理を依頼してください。 ご自身で分解、改造、修理を行なわれた場合は補償の対象となりません。

●安全上のご注意●

必ずお守りください

注意

	規定の物以外は細断しない。 特にラベル等粘着物のついた紙、湿った紙、フィルム、ビニールなどは細断しない。故障の原因になります。		最大裁断枚数を超える細断物を投入しない。 故障の原因になります。
	上に物を載せない。 誤作動、故障の原因になります。		ステープル(ホチキス)、クリップ、ピンは取り除く。 故障の原因になります。
	水平で安定した場所に設置する。 本体が倒れ、けがをするおそれがあります。		使用が終了したら電源を切る。 誤作動、火災の原因になるおそれがあります。
	落下、破損した場合は使用を中止する。 火災や感電の原因になります。使用を中止し、販売店に修理を依頼してください。		電源コンセントの近く(コンセントの抜き差しやすい場所)で使用する。
	電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む。 火災、感電のおそれがあります。		長期間使用しないとき、移動するときは電源を切り、電源プラグを抜く。 火災や感電の原因になります。
	電源プラグを抜くときは必ずプラグ部分を持つ。 コードが破損し、感電、火災の原因になります。		お手入れのときは必ず電源を切り、電源プラグを抜く。 感電、けがのおそれがあります。
	熱器具や火気のそばで使用しない。 キャビネットが変形し、火災、感電、誤作動の故障の原因になります。		高温・多湿の場所、ほこりの多い場所では使用しない。 火災、感電の原因になります。
	直射日光の当たる場所に設置しない。 誤作動、故障の原因になります。		機械内部に金属類を入れたり、油類や水をかけない。 火災、感電の原因になります。

仕様

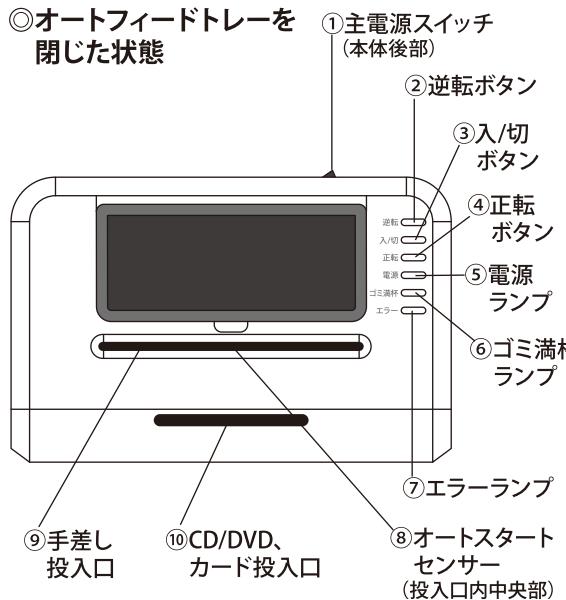
*測定条件:室温(20°C~25°C)、相対湿度45%~55%、A4コピー用紙(64 g/m²)

型 番	SHR-AF606C	電 源	AC100V 50/60Hz
投 入 口 幅	220mm	消費 電 力	175W
細 断 尺 法	3×9 mmマイクロカット	定 格 電 流	2.0A
最大細断枚数	紙:A4コピー用紙(64/g) 6枚	外 形 尺 法	(約)幅375×高さ515×奥行245mm
細 断 速 度	(約)2.2m/min(6枚手差し細断時)	質 量	(約)10.7kg
定 格 時 間	8分/休止時間40分	ダストボックス容量	(約)23ℓ
本 体 材 質	ABS樹脂	電源コード長さ	(約)1.4m

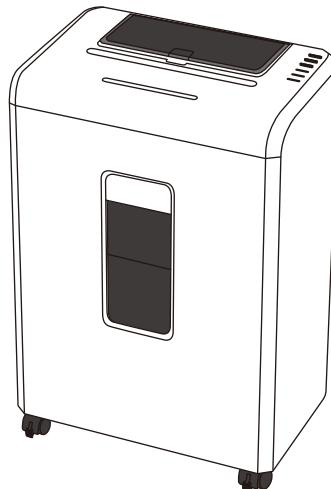
仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。予めご了承ください。

●各部の名称と働き●

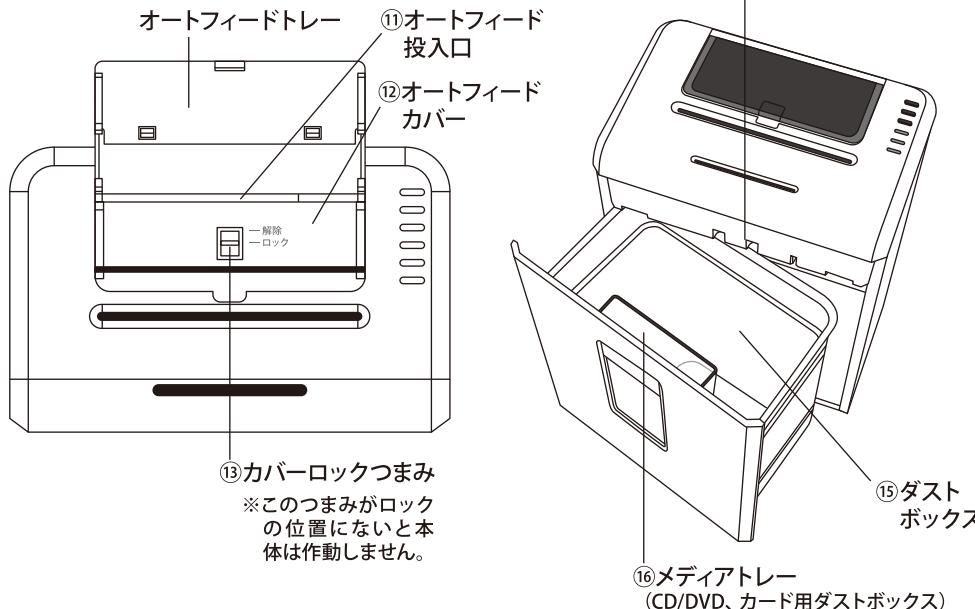
○オートフィードトレーを閉じた状態



●本体外観



○オートフィードトレーを開けた状態



●操作方法● 使用の際には次の手順を守ってお使いください。

○準備

- 1.ダストボックス⑯の内側前面にメディアトレー⑯を取り付けた後、ダストボックス⑯をシュレッダー本体に奥まできちんと押し込み、セットしてください。ダストボックス⑯がきちんとセットされていないとシュレッダーを作動させることができません。
- 2.本体後部の主電源スイッチ①が「○」(切)の位置にあることを確認してから、電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- 3.主電源スイッチ①を「-」(入)の位置にしてください。
- 4.本体天面の入/切ボタン③を押してください。電源ランプ⑤が点灯します。

○手差し細断する場合

- 1.投入口のオートスタートセンサー⑧を通過するように、紙をそろえて投入してください。一度に細断できる枚数はA4コピー用紙(64g/m²)で6枚までです。
- 2.細断終了後、自動的に停止します。

○オートフィード細断する場合

- 1.オートフィードトレーを開きます。
- 2.ステープル(ホチキス)、クリップ、ピンなどがないことを確認し、細断する紙をそろえて、オートフィード投入口⑪にまとめてセットします。一度にセットできる枚数はA4コピー用紙(64g/m²)で60枚までです。
- 3.数秒後、紙送りされ細断していく、細断終了後、自動的に細断が停止します。

△ 注意

- 紙はそろえて投入してください。
- ステープル(ホチキス)、クリップ、ピンなどは必ず取り除いてから細断してください。
- 紙以外のものは細断しないでください。
- フィルムコートしたはがきや、ラベルが貼られている紙は細断しないでください。細断くずが刃にからみやすく、紙づまりや故障の原因になります。
- オートフィード細断はA4サイズの紙専用です。それ以外のサイズの紙は手差し投入口を使用してください。
- 手差し細断で一度に細断できる枚数はA4コピー用紙(64g/m²)で6枚までです。オートフィード細断で一度にセットできる枚数は60枚までです。
- 規定枚数以上の細断やセット、細断途中での継ぎ足しはしないでください。紙づまりや故障の原因になります。
- 紙の細断具合は、紙質、湿気などにより変わります。ご了承ください。

●オーバーヒート●

A4コピー用紙6枚細断を8分以上連續で使用した場合や、紙づまり状態で放置した場合などにモーターを過熱から保護する為にモーターが自動的に停止します。
復帰させるには、主電源スイッチ①を「○」(切)の状態にして約40分休ませる(モーターを冷却する)必要があります。

●紙詰まりの処理方法●

投入した紙が多すぎると、警報音が鳴り、エラーランプ⑦が点灯し、自動的に逆回転した後、停止します。詰まった紙を取り除いてください。

詰まった紙を取り除いた後、入/切ボタン③を押して電源ランプ⑤エラーランプ⑦を消灯させてください。再度入/切ボタン③を押すと電源ランプ⑤が点灯し、細断できる状態に戻ります。

投入口奥の細断物をダストボックスに落とすときは、逆転ボタン②または正転ボタン④を押してください。

オートフィード細断中にカバー⑫内に紙が詰まってしまった場合

- 1.カバーロックつまみ⑬を「解除」の位置に合わせます。このとき、電源ランプ⑤とエラーランプ⑦が消灯します。
- 2.オートフィードカバー⑫を開き、詰まった紙を取り除きます。
- 3.オートフィードカバー⑫を閉じ、カバーロックつまみ⑬を「ロック」の位置に合わせます。
- 4.入/切ボタン③を押すと電源ランプ⑤が点灯します。

△ 注意

オートフィードカバー⑫が開いた状態や、オートフィードカバー⑫がしっかりとロックされていない状態では、シュレッダーは作動しません。

●細断くずの処理方法●

ダストボックス⑯内に細断くずが一杯になると、ゴミ満杯ランプ⑥が点滅します。細断くずの巻き込みにより故障の原因になるため、細断した紙がダストボックス⑯に一杯になる前に、こまめに捨ててください。

【処理方法】

- 1.細断した紙を捨てるときは必ず主電源スイッチ①を「○」(切)の状態にしてください。
- 2.ダストボックス⑯を本体より引き出して、ダストボックス⑯内の細断くずを捨ててください。
※分別は各地方自治体、処理業者により異なります。ご確認の上、捨ててください。

△ 警告

投入口や本体内部に手を入れないでください。けがなどの事故につながるおそれがあります。

●こんな時は●

トラブルが発生した場合は、以下のチェックをおこなってください。

現象	確認	対処法
シュレッダーが動作しない	電源プラグは正しくコンセントに差し込まれていますか？ 主電源スイッチ①が「一」(入)になっていますか？電源ランプ⑤は点灯していますか？	電源プラグを正しくコンセントに差し込んでください。 本体後部の主電源スイッチ①を「一」(入)にして、本体天面の入/切ボタン③を押し、電源ランプ⑤が点灯していることを確認してください。
	オートフィードカバー⑫がロックされていますか？	カバーロックつまみ⑬がロックの位置にあることを確認してください。
	細断するものが投入口のオートスタートセンサー⑧の部分に入っていますか？	オートスタートセンサー⑧の部分に入るように、投入口中央部に投入してください。
	ダストボックス⑯が本体に正しくセットされていますか？	ダストボックス⑯を正しく本体にセットしてください。
	紙詰まりを起していませんか？	紙詰まりを起こし、エラーランプ⑦が点灯している場合は、5頁の手順で紙を取り除いてください。
	手差し投入口⑨、CD/DVD、カード投入口⑩、オートフィード投入口⑪の2ヶ所以上に同時に投入している場合は、センサーが感知して動作を停止します。必ずいずれかの1つの投入口のみでご使用ください。	手差し投入口⑨、CD/DVD、カード投入口⑩、オートフィード投入口⑪の2ヶ所以上に同時に投入すると、センサーが感知して動作を停止します。必ずいずれかの1つの投入口のみでご使用ください。
細断中にとまつた細断できない	オーバーヒート自動停止機能が働いていませんか？	8分以上連続で使用した場合や、紙詰まりの状態で放置した場合などに、モーターを過熱から保護するために細断が自動的に停止することがあります。復帰させるには、本製品の主電源スイッチ①を「○」(切)の位置にして、約40分以上休ませ、モーターの温度が下がるまでお待ちください。モーターの温度が下がると、再度細断できます。
マイクロカット状に細断されない	コピー用紙を規定枚数以上投入していませんか？	手差し細断で一度に細断できる最大枚数はA4コピー用紙(64g/m ²)6枚です。枚数を減らして再度投入してください。

※お願い…上記以外の場合は、事故防止のためただちに使用を中止して、必ず販売店または弊社修理ご相談センターに点検修理をご依頼ください。